

広報

ひたち
おおた

特集

震災から一年。……………P2～7

災害に強く、安心して暮らせるまちを目指して—

おめでとうございます……………P8～9

エコミュージアム通信……………P10

【連載】二孝女物語……………P11

トピックス……………P12～P13

皆さんのアイデアをまちづくりに！

市民提案型まちづくり事業……………P14～P15

まちの話題……………P21～P22

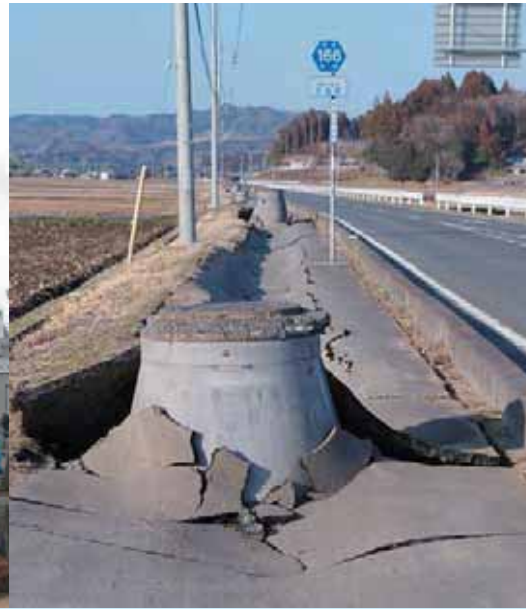
【三世代で楽しむ赤土町の収穫祭】

平成24年(2012)

3

月号

No.604



特集

震災から一年。

災害に強く、安心して暮らせるまちを目指して――

本市に大きな被害をもたらした昨年3月11日の東日本大震災の発生から1年。
日々、懸命な復旧作業が市内各地で進められていることもあり、徐々に活気が戻りつつあります。しかし、いつまた大きな地震が起これないとも限りません。
今回の震災で経験したことをもとに、復旧とあわせて、災害に強く市民の皆さんが安心して暮らせるようなまちづくりを進める必要があります。
今月は、まちの震災からの復旧、そして復興に向けた取り組みを特集します。

東北地方太平洋沖地震の概要

- 発生時刻 平成 23 年 3 月 11 日 午後 2 時 46 分
- 震源地 三陸沖（牡鹿半島沖東南東 130km 付近 震源深さ 24km）
- 地震規模 マグニチュード 9.0
- 最大震度 震度 7
- 災害呼称 東日本大震災（平成 23 年 4 月 1 日閣議）

本市の被害状況・震災対策等

- 最大震度 震度 6 弱
- 死傷者数 死者 1 人、負傷者 2 人
- 避難者数 2,361 人（避難所開設 22 力所）
- 家屋被害（り災証明交付件数）
全壊 106 棟、大規模半壊 307 棟、半壊 916 棟、一部損壊 4,289 棟（平成 24 年 2 月 14 日現在）
- 被災証明 20,366 件（平成 24 年 2 月 15 日現在）
- 震災対策 平成 23 年 3 月 11 日 午後 3 時 災害対策本部会議設置
／ 4 月 8 日 災害復興対策本部会議設置
- 復旧経過 平成 23 年 3 月 16 日 市内全域の送電完了／ 3 月 19 日
市内全域に上水道通水／ 3 月 22 日 下水道の応急復旧完了



市震災復旧・復興計画

○計画の目標

- ▽市民生活を再生する
- ▽まちの活力を再生する
- ▽安心して暮らせるまちをつくる

○計画の期間

H 23	H 24	H 25
復旧期		
復興・再生期		

一日も早い市民生活・産業・地域再生と再建を目指し、道路・下水道や教育施設などの復旧と、市民の皆さんの理解と協力を得ての市民協働による復興に向けて、「常陸太田市震災復旧・復興計画」を策定しました。

平成23・24年度半ばまでを復旧期としてインフラの復旧などを、平成25年度末までを復興・再生期として地域の活力を高めるため、まちの復旧・復興に全力を挙げて取り組んでいます。

進む、まちの復旧。

3月末までに約9割の復旧が完了

道路・上下水道

市道棚谷線や市道花房青木線などの道路、茅交差点付近の下水道、茅根水源導水管・配水管など179件について、今年3月末までに**約90・9%**の復旧の完了を予定しています。

教育施設

太田中学校体育館や、郡戸幼稚園園舎など27件について、今年3月末までに**約81・8%**の復旧の完了を予定しています。

※世矢中体育館の建て替えが平成24年度に行われることや、峰山中など5校のプール整備が現在検討中のため、復旧割合が低くなっています。

公共施設

市役所本庁やパルティホール、山吹運動公園市民体育館、交流センターふじの一部、総合福祉会館など58件について、今年3月末までに**約86・6%**の復旧の完了を予定しています。

【被災時の様子】



粟原町の道路の陥没



棚谷町の崖の崩落現場



郡戸幼稚園の屋根



金砂郷小体育館



総合福祉会館の外構



交流センターふじ

主な施設等の復旧見込



交流センターふじ…平成 24 年 8 月復旧予定



南中学校体育館…平成 24 年 3 月復旧予定



世矢中学校体育館…平成 25 年 2 月新設復旧予定



松栄橋…平成 24 年 6 月完成予定



里川橋（県事業）…平成 23 年度仮設橋設置。本工事は平成 24 年 11 月頃から。平成 25 年度完成予定



金砂郷支所…現在の建屋は解体し、平成 25 年度に新設整備予定



旧太田中講堂（県事業）…平成 25 年 10 月復旧予定



瑞龍山（水戸徳川家墓所）…平成 29 年 3 月復旧予定



善光寺橋・大方橋…平成 25 年度完成予定（写真は大方橋）

常陸太田市東日本大震災被害対策支援制度（平成 24 年 2 月 13 日現在）

- 支援金 住宅 20 万円、物置等 10 万円
- 見舞金 住宅 3 万円、物置等 2 万円
- ＊各金額は上限額

義援金・支援物資

（平成 24 年 2 月 27 日現在）

○住宅 申請件数 2,467 件、支給済件数 1,590 件
支給済額 234,951,000 円

○物置等 申請件数 577 件、支給済件数 407 件
支給済額 32,261,000 円

○義援金 270 件、40,678,105 円

○支援物資 52 件（非常食、水、乾電池、日常用具、紙おむつ、タオル、車輛貸出など）

主な支援施策等の状況

震災を経験して

助け合いの大切さを改めて実感。



軽部 武士さん
（中城町）

震災後、会社が休みとなり自宅待機になったので、「太田ワクワク会」のメンバーに声をかけ、市の震災ボランティアに登録し、交流センターふじの図書館での図書整理やごみ処理場での作業を行いました。

一人ではためらうボランティアへの参加も、みんなとなら一歩踏み出せます。体力がある若い世代がボランティアとして登録し、いざというときにすぐ集まれる体制が必要だと思えます。震災を経験して、お互いに助け合うことの大切さを改めて実感しました。

災害に強いまちへ。

地域防災計画を見直し 防災体制を強化

東日本大震災の発生とその対応による課題や問題等を調査・検証し、今後の防災体制に生かしていくため、市地域防災計画を見直します。

【見直しにあたっての主な項目】

- 行政の防災体制の強化
- ▽迅速な初動体制の構築
(対応マニュアルの整備、防災訓練の実施など)
- ▽防災資機材等の整備拡充
(水や食料の備蓄、資機材の整備など)
- ▽情報伝達手段の強化(防災無線、メール配信の活用など)
- ▽災害時支援協定の締結
(食料や燃料等の関係事業者等)
- 地域・市民への支援
- ▽自主防災組織への支援



- (防災リーダーの育成、訓練の拡充など)
- ▽災害拠点施設の整備(地域の避難所の資機材整備など)
- ▽要援護者対策(高齢者等の避難等への対応)
- 原子力災害対策計画の見直し
- ▽30km圏の緊急防護措置区域(UPZ)の設定に伴い、国の指針に基づいた見直しを行う

公共施設等の耐震化や 防災設備を充実

市耐震改修促進計画に基づき、住宅や本庁舎、学校施設などの公共施設等の耐震化を進めていきます。
また、瑞竜浄水場や茅根水源など非常用自家発電装置の整備や定期点検を強化していきます。

【公共施設等の耐震化の目標時期】

市有建築物	H 27 年度までに 100%
学校施設	H 26 年度までに完了
本庁舎	H 25 年度までに完了
金砂郷支所	H 25 年度新設整備

【防災設備の充実等】

瑞竜浄水場、茅根水源など	H 26 年度までに整備
--------------	--------------

日常の要援護者見守り活動を強化

「災害時要援護者避難支援プラン」を作成し、地域、保健、医療、消防等が連携して情報を共有化し、一人暮らしの高齢者などへの日常の見守り活動を強化していきます。
震災が発生した際には、要援護者が円滑に避難できる仕組みを整えます。



安心して生活できることのありがたさを知った。



大内 陽平くん
(幸久小6年)

大地震があったときは学校の授業中で、先生の指示で机の下にもぐりましたが、とても長く感じました。
自宅が井戸水なので、3月13日から3日間、お父さんとお姉さんと井戸水を地域の方に配って回りました。「ありがとう」と言われるたびに、地域の方の役に立てて良かったと思いました。
今は自分の部屋に懐中電灯などを置いて、また大きな地震が来てもすぐに避難できるようにしています。
今回の震災を経験して、水と電気は無駄にはできないと感じました。そして、安心して生活できることが、いかにありがたいことかを知りました。

放射線測定器の配置・計画的な除染を実施

「市放射性物質除染計画」

を策定し、市民協働により除染を実施していくことで、平成25年8月末日までに、住宅や学校などの生活圏における市民の追加被ばく線量を、年間1ミリシーベルト以下にします。

また、学校等の公共施設に放射線測定器を配置し、定期的に放射線量を測定していきます。



【市民の皆さんの除染活動を支援します】

- 放射線測定器を貸し出しています。
- 除染作業用品（マスク、軍手、土のう袋）、除染マニュアルを配付します。



相談窓口

市放射能対策室（環境政策課内 内線 180・181）

測定して数値を見れば安心できる。



西宮町会長
塩原 英教 さん

2月19日に、町会で排水路の泥を取り除く作業にあわせて、町内の北から南まで延びる排水路の7カ所で放射線量を測定しました。結果は基準値に満たない数値であることが確認できました。

目に見えない放射線への不安も、実際に測定して数値を見れば安心できます。個人だけでなく、地域ぐるみで測定してみるのもよいと思います。

自主防災会組織の強化と活動を支援

現在、市内124町会のうち、103町会で自主防災会が組織されています。今回の震災では、自主防災会が大いに活躍しました。

それら自主防災会の組織をより一層強化するため、自主防災会における研修や資料の提供、訓練実施に対しての支援や、防災資機材を整備するための購入費助成などを行っています。

また、行政と自主防災会の連携強化も進めていきます。

自主防災会では様々な資機材を整え、いざというきのために備えています

【電気が止まったときのために】

発電機、ラジオ、懐中電灯、投光器、ロウソク、ガソリン携行缶など

【けが人等が出たときのために】

救急セット、担架、毛布など

【食料等】

飲料水など

【その他備品】

消火器、ヘルメット、軍手、一輪車、メガホン、土のう袋、救助ロープなど

* 資機材は自主防災会により多少異なります。



今年度中に全ての町会の自主防災会設置に向けて整備が進んでいる



情報の伝達など自主防災会と行政の連携強化が求められている

情報があれば、次にとるべき行動に移れる。



島根 利幸 さん
（松栄町）

私が所属していた消防団金砂郷支団第6分団では、自宅が被災している団員もみな集まり、町会長さんも一緒に震災の翌日から地域の巡回を開始しました。水道が止まっていたため、とにかく火災を発生させないように地域の皆さんに注意を喚起しました。

また巡回をしながら、住民の安否や家屋、道路の被害状況の把握に努めました。電気が止まり、電話がつかない状況、今、まちがどういう状況なのか全く分からない状況でしたので、助けるべき人はいるか、必要な物は何か、情報があれば次にとるべき行動に移れます。震災を経験して、情報の重要性を再認識しましたね。



通常の携帯電話の他、急速に普及が進むスマートフォンでも災害情報配信サービスを受けることができる

地震発生直後、停電となり、携帯電話もつながりにくくなるなど、震災の詳しい情報の入手が困難な状況に陥りました。市では、震災の状況や避難所・給水所の開設、支援施策などの情報を防災無線で放送したり、お知らせ版号外を新聞折込することで対応してきました。

そういった災害時における情報の伝達を強化するため、携帯電話を利用した「災害情報配信サービス」を開始しました。

これにより、震災発生時の避難勧告・指示などの緊急情報を、市民の皆さんにいち早くお知らせすることができ

災害時に迅速な情報の伝達を可能に

【災害情報配信サービス】

- ① メール一斉配信サービス ② NTTdocomo エリアメール
③ ツイッター（配信のみ） ＊①と③は事前の登録が必要です。

問情報政策課情報化推進係（☎内線306）

その他の主な復興事業

農作物等の販売促進・PRを強化（風評被害対策を含む）	広報紙・各種イベント・マスコミを活用し、市内外に本市産農作物等の安全性のPRや販売促進を強化 【実施中】
経済復興プレミアム付商品券を発行	商工会のプレミアム付商品券発行へ補助 ・1万円の商品券に1千円のプレミア 【実施中】
指定文化財復旧復興支援	水戸徳川家墓所など国県市指定文化財の復旧支援、文化財所有者が実施する修理・修復経費の一部を助成
農業者・中小企業者への資金融資および利子補給等	農業設備資金等の利子助成および中小企業者等への運転資金融資、災害復旧融資利子補給等の支援 【実施中】

一主な非常用備品リストー

- ☐ 非常食・水
- ☐ 懐中電灯・ろうそく
- ☐ 乾電池・燃料等
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 携帯電話・充電器等
- ☐ 救急箱・常備薬
- ☐ 衣類・下着類
- ☐ 現金・貴重品
- ☐ ウエットティッシュ
- ☐ カセットボンベ・コンロ
- ☐ ハザードマップ

*上記リストをチェックし、まとめてすぐに持ち出せるように、日頃からの非常時の備えを心がけましょう。その他、個人で必要と思われる物もまとめておきましょう。

今回の大震災では、いつ起こるかもしれない災害に備えることの大切さを改めて痛感させられました。

また、大地震で揺れている最中は、ほとんどの方が自分の身を守ることで精いっぱいだったに違いありません。自分が助からなければ、家族や周りの方を助けることはできません。非常時にどんな行動をとったらよいのか、一人ひとりが改めて考え直す必要があります。

震災の発生を防ぐことは困難です。しかし、震災による被害を最小限にいとめるこ



とは可能です。

そのために大切なことは、行政の、地域の、そして市民の皆さん一人ひとりの災害への備え。そして、手と手を取り合い協力して困難を乗り越える力。

そうすることで、まち全体が災害に強い常陸太田市をつくっていくことができるでしょう。

備え、そして力。

叙勲

88歳以上の方を対象とした「高齢者叙勲」において、本市から木村徳二さんが受章されました。



旭日双光章

木村 徳二氏（上利員町）
元常陸太田市議会議員。永年にわたり地方自治の推進に尽力された

荻津 真子さん

「普段練習している調理器具と違い、卵焼きの火の通り具合など難しかったですが、3人がうまく協力してできました」

大串 英里奈さん

「県大会より人が多く、実技会場では審査員の採点する様子が気になり緊張しましたが、お互いに声を掛け合って頑張りました」

和田 恵海さん

「緊張して練習どおりにいかないこともありましたが、一つひとつを丁寧にこなすことができました」



荻津真子さん

大串英里奈さん

和田恵海さん

（3人とも2年）

「あなたのためのおべんとう」コンクール
全国大会で3位入賞

広報ひたちおた 1月号で紹介した



長生きしてね！百菜べんとう



メンバーの荻津さんの曾祖母・荻津まつさん（100歳）のため、「100歳のお祝い」「長生きしてほしい」とのメンバーの気持ちが込められたお弁当。コンクールではお弁当の出来はもちろん、食品の扱い方や片付けの仕方など、調理中の作業態度も審査の対象となる。

3人のチームワークが見事に発揮され、堂々の3位という快挙達成となりました。

指導にあたった宮田律子先生は「明るく、おべんとうの良さが伝わるようにプレゼンテーションできたところが高評価を受けた一因だと思います。3人とも目標を持って努力し、よい結果につながりました。家族の支えも大きかったです」と話してくれました。

全国大会で3位に当たるつくば科学万博記念財団理事長賞に輝きました。

東関東アンサンブルコンテストで銀賞を受賞



上段左から

大内 美果さん（3年）、岡田 莉奈さん（2年）、岡崎 香澄さん（3年）、河野 真子さん（3年）

下段左から

小松 真友美さん（3年）、小松 花菜美さん（3年）、小松 祐理美さん（3年）、宇野 千尋さん（3年）

峰山中（若松宏校長）吹奏楽部が、1月22日に宇都宮市文化会館で開催された「第17回東関東アンサンブルコンテスト」に出場し、銀賞に輝きました。

県大会を金賞で突破した同校は、東関東大会でもその実力を発揮。「金管8重奏」で見事な演奏を披露しました。

顧問の加藤勝弘先生は「アンサンブルでの東関東大会出場は初めてで、生徒たちもとても喜んでいました。特に3年生は受験勉強との両立を目指し、一生懸命努力していました」と生徒たちの頑張りを話してくれました。

統計功労者として総務大臣等表彰

永年、統計調査員などに従事された統計功労者として、次の方々が総務大臣、県知事などから表彰されました。
(敬称略)

▼平成23年春の叙勲

小林 暹(東連地町)

▼総務大臣表彰

菊池 實(天下野町)／小野瀬 繁光(上高倉町)

▼県知事表彰

石井 榮(松平町)／佐藤 寛(大中町)／高星 正一(小中町)

▼県統計協会総裁表彰

菊池 ナツ(天下野町)／菊池 通昌(小妻町)／深澤 壹之(西河内上町)／飛田 松夫(岩手町)／尾又 欣(岡田町)

【総務大臣表彰】



小野瀬 繁光さん
(上高倉町)

統計調査員として32年間、統計調査に尽力された



菊池 實さん
(天下野町)

統計調査員として49年間、統計調査に尽力された

読み聞かせコンクールで県知事賞

図書館ボランティア等のイベントの読み聞かせで活躍をしている小林佐千江さん(天神林町)が、2月25日開催された「平成23年度読み聞かせフェスティバル第10回読み聞かせコンクール自由部門一般の部(個人)」で、県知事賞を受賞されました。

初出場のプレッシャーの中、絵本「おへそのあな」を音楽にあわせて朗読し、審査員から好評を得ました。

「緊張したが楽しかった。世の中には、素晴らしい絵本があるので、たくさんの人に

知ってほしい。将来はラジオで読み聞かせができれば嬉しい」と、小林さんは受賞の喜びを話してくれました。



小林 佐千江さん
(天神林町)

県教職員施策提案制度で奨励賞



上野 悦男 教諭
(世矢小)

県内の学校の先生が教育についてのアイデアを提案する教職員施策提案制度で、世矢小の上野悦男教諭が奨励賞を受賞しました。

提案は「ボランティア活動の推進」をテーマに、学校教育の中にボランティア活動を積極的に取り入れ、社会貢献の体験や地域の人のふれあい、さらにはお互いに助け合うことの大切さなどを学ぶ内容となっています。

上野先生は「子どもたち皆で協力してボランティア活動に取り組み、災害等の時に助け合う思いやりの心や絆を育ててほしい」と話していました。

常陸秋そばの郷まもりたい収穫祭

2月19日、“元気な赤土づくり”（地域おこし）活動を展開している赤土町で、「常陸秋そばの郷まもりたい（海老根信夫代表）」主催の収穫祭が赤土集会所で開催され、地域住民約100人が参加しました。

各班に分かれて、そば打ちや餅つき（花餅づくり）と併せて、総合案内板の設置なども行われました。

収穫したそばは、今年も質・量ともに最高の出来となり、昼食には、つけけんちんそばやつきたてのお餅が振舞われました。

今後は、GW頃そば畑に一面に咲き誇るクリムソクローバーの赤い花を通じたイベントを開催する予定です。

赤土町散策マップも完成。地域のお宝や見所が分かりやすく表示されている



地域の方や祭に訪れた方もみんなで、そばや餅に舌鼓



万畑のカシなど、地域のお宝への保護柵の設置も行われた



みんなでにぎやかに餅つきを楽しむ



赤土祭囃子保存会（写真左）や、表現座 SE ☆ COM（チンドンバンド）も出演して、祭を盛り上げた

ちょっと寄り道

今月は竹合町

竹合上の観音さん



様々で、どの観音さんも顔が優しく、人を引きつけます。

二昔前までは、集落の結婚している若い女性たちが春4月と秋11月の19日前後に、神事と称して安産や子育てを願い、十九夜講を行っていました。当番の家で餅をつき、けんちん汁をつくり、子どもたちと一緒に食事や雑談をしながら体を休め、最後にみんなで観音さんをお参りして散会していたそうです。

今ではその風習はなくなりましたが、ときどき思い出したように参拝する人がおり、地元では心のよりどころになっています。

竹合町の大通りから西へ50mほど入った小高い丘の小さな観音堂には、地元で「観音さん」と呼ばれている五つの石仏があります。

観音さんは、立って赤ん坊を抱いているものや、頬杖をついているもの、両手を合わせて拝んでいるものなど

来月は竹合町の「い」つながりで、稲木町さんをお願いします。



紹介者
竹合町
阪本 勝實さん

二孝女物語 第四巻

問 文化課（内線541）



青蓮寺で見つかった手紙①

「そちらに、豊後の国の二孝女関係資料は残っていませんか？」

大分県臼杵市の方から青蓮寺（東連地町）の藤井智住職に電話があつたのは平成16年のことでした。

藤井住職はまだそのときは二孝女については全く知らず、そういった資料はないと応答。また同年、後の「二孝女研究会」の発足者となる秋山高志さん（水戸市）と野上平さん（国安町）が青蓮寺を訪ねましたが、藤井住職はやはり同じように答えました。

ところが、翌平成17年に藤井住職が寺の資料を整

理していると、2人の女性が描かれた資料と、いくつも手紙が見つかりました。「もしかして、これが二孝女かもしれない」と思った藤井住職は、偶然同じ歯科医に通っていた野上さんに話を持ちかけました。「それだ！」話を聞いた野上さんは色めき立ちました。そしてついに、本市でも二孝女の話が明るみに出ることとなったのです。

ではなぜ、本市では二孝女の資料や話が表面化しなかったのでしょうか。見つかった資料にそのヒントが隠されていました。

— 次号につづく



青蓮寺で見つかった二孝女が描かれた資料。他にも、手紙などが数多く見つかった

「外国人のための日本語講座」とは？

市内在住の外国人の方々を対象に毎週木曜日、生涯学習センターで日本語の講座（受講生18人）を行っています。また、日本生活での不安解消や地域に助けを借りて生活できるよう先生たちが応援してくれています。



丁寧な個別指導



受講生のアレックスさん（中央）が日本語スピーチコンテストに出場

問 生涯学習センター（☎ 72-8888）

講座を受け持つ、日本語ボランティア「ひたちおた」は、平成12年にボランティア団体としてスタートし、旧里美村教育委員会の講座を開始。その後、平成16年の合併で常陸太田市の講座となりました。メンバーは現在11人。講座は日本語の基本的な使い方を覚えるための

本音で話すことで、日本の良いところ、悪いところを一緒に考えていることができます。そのことにより異文化の偏見を取り除き、人々とのつながりを持つこともできます。それがこの講座の面白いところでもあり、講師をしていて楽しく、やりがいを感じる点ですね。



外国人のための日本語講座
日本語ボランティア「ひたちおた」の皆さん

テキストを使っての学習と、日本語だけのフリートークを行います。受講者は日本語検定を受けるなど目標を持って意欲的に受講しており、今年を受講者の方が「外国人による日本語スピーチコンテスト」に出場するという嬉しいこともありました。お茶を飲みながらのフリートークではいつも話が弾み、本市の情報や受講者の相談などにも話題が広がるなど、ネットワークづくりの場にもなっています。

市民が講師の
生涯学習講座

最終回

外国人のための日本語講座

汁ONEカップ開催 駅前広場に個性あふれる味が集結

2月5日、お椀で食べる汁物料理を集めた「汁ONEカップ2012」が常陸太田駅前広場で行われました。

市観光物産協会が活性化のために新たなイベントとして企画したもので、市内の飲食店や市民団体、地元住民が参加して24店が出店しました。

やや肌寒い気候だったものの、それだけに1杯300円で提供される汁物は訪れた大勢の来場者の胃袋に温かく染みしました。人気メニューは午前中で売りきれものもあり、おいしい汁を探して会場は熱気にあふれました。



会場となった駅前広場には大勢の人が詰め掛け、個性あふれる汁物料理の味を楽しんだ



ナンバー ONE に輝いた「米粉カレーすいとん」を作った太田ワクワク会



伯爵かぼちゃを使ったスープ。いろいろな汁物はみな飛ぶように売れた



寒い季節には温かい汁物が大好評

来場者の投票によってナンバー ONE に選ばれた汁物は、太田ワクワク会が作った「米粉カレーすいとん」で、市内の飲食店で定番メニューとして提供される予定です。

本市内でテレビ・映画の撮影が行われました

1月7日、内田町の里川にかかる八幡橋でテレビドラマの撮影が行われました。

ドラマは4月から放送が予定されているNHK連続テレビ小説で、戦後まもない東京蒲田のイメージで、人が行きかう八幡橋の様子を撮影したものです。昨年11月には、三才町の里川河川敷でも同ドラマの撮影が行われました。

また、1月29日には瑞竜小学校の校庭で映画の撮影が行われ、校庭の真ん中に立つ桜「瑞桜」の下でホームルームのシーンが撮影されました。

テレビや映画を通じて、本市の魅力ある自然や景色を全国に発信していけることでしよう。



八幡橋での撮影の様子



瑞竜小学校の瑞桜の下での撮影

【放送作品】

○NHK連続テレビ小説「梅ちゃん先生」

4月2日から放送予定（本市内の撮影風景は4月3日・4日・6日・10日に放送予定） 出演：堀北真希ほか

○映画「だいじょうぶ3組」・・・2013年公開予定 出演：乙武洋匡ほか

マシコタツロウ氏と子どもたちが 市の歌をレコーディング

現在、市が進めている「市の歌」の制作に子どもたちも参加してもらおうと、作詞・作曲を担当するマシコタツロウ氏と市内の小・中学生約120人が、「市の歌」のレコーディングを2月12日にパルティホールで行いました。

レコーディングでは、小学生グループと、中学生がソプラノ・アルト・テナー・バスの各パートごとに分かれて「市の歌」の2番・3番のサビを録音。事前の1週間の練習の甲斐もあり各パートの録音は順調に進み、最後は録音した全てのパートを同時に流した曲をみんなで聴いて終了しました。

指導にあたったマシコ氏は「子どもたちは皆レベルが高い。先生方の指導のおかげだと思います。この歌が市のアイデンティティとして、多くの市民に歌われるようになってほしい」と述べました。

市の歌は3月中旬に完成し、4月初旬に公表する予定です。



レコーディング機材を目の前にして最初は緊張気味だった子どもたちは皆、練習の成果を発揮して見事な歌声を披露した



マシコタツロウ氏の丁寧な指導のもとで歌う子どもたち

＊「市の歌」は、市民の誰もがふるさと常陸太田に希望と誇りを持ちながら歌うことのできるよう作成するもので、市民の皆さんから募集した「言葉」や「フレーズ」などを使い、マシコタツロウ氏が作詞・作曲をしています。

協働のまちづくり について提言

1月27日、「常陸太田市市民協働のまちづくりを考える会（林寛一会長）」が、約2年間の活動の成果としてまとめた「市民協働のまちづくりへの提言」と「市民協働のまちづくりガイドブック」を、大久保市長に手渡ししました。

提言では、新たな地域コミュニティ組織づくりの推進について、ガイドブックでは「協働の基本的な考え方」などが説明されています。

林会長は「新しいコミュニティづくりに向けて、ぜひ進めてほしい」と要望し、今後市では、提言の実現に向けた取り組みを行っていきます。



大久保市長⑤に提言書を手渡す林会長④と川崎陽平会長代理

高倉地区で防災 訓練を実施

2月5日、高倉地区4町会の自主防災会が、合同防災訓練を実施しました。

高倉交流センターで行われた訓練には地元住民約100人が参加。茨城県沖を震源とするマグニチュード7.2の地震が発生したとの想定で、様々な訓練が実施されました。災害情報の送受信を行う「情報連絡訓練」や、自宅へ待避所へ避難所への「避難誘導訓練」、消火・救護・給食給水などの「応急活動訓練」などに熱心に取り組む、地震体験や防災グッズの説明もあり、防災意識の高揚が図られました。



消火器の使い方や注意点についての説明を真剣な表情で聞く参加者の皆さん

皆さんのアイデアをまちづくりに!!

市民提案型まちづくり事業

自分たちの力で地域の課題を解決し、地域の活力を生み出そうとするグループや団体等を応援する事業で、4年目を迎えた今年度は22団体を採択しました。各団体の活動状況を随時紹介していきます。問市民協働推進課（内線 217）

二孝女物語を後世に語り継ぐ

【二孝女顕彰会】

代表 櫻井 正美さん（東連地町）

東連地町の青蓮寺に残る「豊後国二孝女」の物語（物語の詳細は本紙11ページを参照）を広める活動を行っています。

昨年10月には大分県臼杵市から約50人が本市を訪れ、青蓮寺など物語にまつわる地域をめぐり交流を深めました。



会では今後、案内板を設置しPRに取り組みとともにパンフレットを作成し、この物語に込められた感謝の気持ち、助け合う気持ち、地域を皆さんや子どもたちに伝え、後世に語り継がれるよう活動を行っていきます。

地域の憩いの場を整備

【浅川をきれいに美しくする会】

代表 根本 一男さん（下宮河内町）

荒れてしまった河川敷

行いました。

をきれいにするため、周囲の竹を伐採し、倒木やゴミを撤去するなどの美化活動を行っています。

会では、これからきれいな浅川を取り戻すため、魚の放流および河川の美化活動を続けていくとともに、子どもたちが釣りや川遊びを楽しめ、地域の憩いの場となるよう整備していきます。



桜を通じて地域住民が交流

【瑞桜を守る会】

代表 小林 一久さん（瑞龍町）

瑞龍小学校の校庭に咲く桜「瑞桜」（樹齢約80年）の保全管理および樹勢回復を行いながら、地域住民の交流を図っています。

除やテング巢病の枝の切除、ひこばえの育成のほか校庭内にある他の桜の管理や除草作業を行っています。来月には「瑞桜まつり」を開催し、7日にはライトアップ、8日には大正琴やフラダンスの披露のほか甘酒の無料配布も行う予定です。



常陸青龍の知名度アップを

【JA茨城みずほ常陸太田ぶどう部会】

代表 本多 技研さん（増井町）

ぶどうの産地としての常陸太田市の知名度のアップを図ろうと、文化デザイン学院の学生と協働により常陸青龍の商標登録にむけたデザイン作成事業を行っています。

パッケージ・パンフレット・リーフレットのサンプルを作成しました。今後は、これまでに作成したデザインやサンプルをもとに、常陸青龍の商標登録に向けて取り組んでいきます。



地域を大切に
する心を育
てる

【天神林お宝探し実行委員会】

代表 寺門 守男さん(天神林町)

平成21年度に文化課と行ったエコミュージアム活動「お宝探し」で作成した地域のお宝マップをもとに、案内板・説明板の設置を行うとともに、巡回コースを設定し地域マップの作成を行っています。

会では、3月に案内板・説明板の設置を行う予定です。

今後も、引き続き巡回コースの整備や案内人の養成を行い、見学者等の誘致を図るとともに、地域を大切にする心を育てます。



市民提案型まちづくり 事業を募集!

市では、平成24年度も市民提案型まちづくり事業の実施団体を募集します。自分たちの力で地域の課題を解決し、地域の活力を生み出すとするグループや団体をお待ちしています

○はじめの一步事業…1 団体に上限 10 万円

○市民提案事業………1 団体に上限 30 万円

申請方法など、その他詳細については、お知らせ版3月12日号の10ページをご覧ください。

つながりぼん

地域おこし協力隊の活動報告

地産旬食の魅力が完成間近・・・★

1月号でもお伝えしたように現在、里美地区の「食」に関する事業を進めています。料理教室やレシピの掘り起し、試食会を重ね、2月12日には里美地区の旬の食材を使い、地域のお母さんたちから教えてもらったレシピをもとに作られた『里美御膳』の試食会を開催しました!! メニューは青大豆ご飯、大根のきんぴら、カボチャの旨煮、ほうれん草のじゅうね和えなど全10品(^^) 野菜中心ですがボリューム満点の御膳です♪

試食会には都市住民も参加し、里美地区の食に触れてもらいながら「量や見た目はどうですか?」「都内または常陸太田市内のどこで食べたいですか?」など商品提供を目指すための意見を集めました。参加者からは「素材の味が活かされている」「初めて見る食材や料理方法がある」などの声も聞かれました(*´ω`*) 里美御膳は様々な場面で提供できるように研究・準備を進めていきます(*^^)v

里美地区の冬の家庭料理を集めたレシピ集は今月上旬に完成予定です☆

地域おこし協力隊「ルリエ」とは?

平成21年度から始まった総務省の事業で、都市圏の住民が1~3年間、過疎地域に住民票を移し地域で生活しながら、農林漁業の応援、水源保全・管理など様々な地域協力活動をしていきます。 RelierのBlog * <http://ameblo.jp/ykm-satomi3103/>



コンビニで

市税等が納付できるように なります

4月から、全国のコンビニ
エンスストア（以下「コン
ビニ」）で市税等が納付でき
ようになります。休日や夜
間を問わずいつでも納付でき、
手数料はかかりませんので、
ぜひご利用ください。

※これまでどおり金融機関
等でも納付できます。

■納付できる税金等

- ① 個人市県民税
- ② 固定資産税・都市計画税
- ③ 軽自動車税
- ④ 国民健康保険税
- ⑤ 後期高齢者医療保険料
- ⑥ 介護保険料
- ⑦ 上下水道料金（簡易水道含）
- ⑧ 公共下水道事業受益者負担金
- ⑨ 公共下水道事業受益者分担金
- ⑩ 農業集落排水事業分担金
- ⑪ 戸別合併処理浄化槽受益者分
担金

■利用できるコンビニエ ンスストア

ココストア／サンクス／セ
イコー／セブン／セブンイレブン／デイリー
ヤマザキ／ファミリーマート
／ミニストップ／ヤマザキデ
イリーストアー／ローソン等

■コンビニ納付では次の 点にご注意を

- ◇ 納付書の様式が変わります
○ バーコードが印字されま
す。
- 各納期1枚ずつの単票に
なります。
- ※ 紛失にはご注意ください。
※ 上下水道料金の納入通知
書は変更ありません。
- ◇ 次の場合は、コンビニでの
納付ができません
○ 納付書にバーコードの印
字がないとき
○ 納付書1枚当たりの金額
が30万円を超えるとき
○ 前納報奨金が明記してあ
る全期前納用の納付書

○ 平成23年度以前に発行さ
れた納付書等

○ 納付金額を訂正した納付
書

○ 納期限を過ぎた納付書
○ 破損・汚損などでバーコ
ードが読み取れない納付
書

■問い合わせ先

◇ 税金等 税務課納税推進係
(内線206)

◇ 上下水道料金等

○ 料金関係

▽ 水道総務課料金係
(872・1230)

▽ 簡易水道課総務施設係
(885・1123)

○ 負担金・分担金関係

下水道課業務係（内線
521）

「地域再生計画の実施報告」 下水道の整備を進め ました

市では、地域再生計画（常
陸太田市「豊かな自然と共生
する、えことぴあ」計画）
に基づき、国の補助金を利用
して公共下水道・浄化槽・農
業集落排水の整備を行いまし
た。その実施結果は次のとお

りです。今後も計画的な整備、
適正な維持管理に努めます。

■計画の実施状況

区 分	事業区域	事業期間	計 画	実 績
公共下水道（特定環境保全 公共下水道含む）	下河合地区 大里・薬谷地区	H18～H20	整備延長 5067.0m	整備延長 4,853.5m
浄化槽（個人設置型）	事業対象区域	H18～H22	設置数 409 基	設置数 352 基
浄化槽（市町村設置型）	事業対象区域	H18～H22	設置数 319 基	設置数 251 基
農業集落排水	佐都四地区（白羽 町・茅根町・常 福地町・春友町）	H19～H22	管渠・処理施 設の整備	整備完了 （平成23年4 月供用開始）

※ 詳細な事後評価については、市ホームページをご覧ください。

※ 未接続の家庭は早期接続をお願いします。

【注】地域再生計画とは、地域再
生法に基づき、国からの支援を
盛り込んだ地方自治体の特色あ
る取り組みとして認定された計
画

健康スポーツだより

問スポーツ振興課スポーツ振
興係(山吹運動公園市民体育
館内 ☎ 73・0090 / FAX 73・
1230 月曜・祝日は休



今月の市民健康スポーツデーは
3月28日水です

個人、家族、グループなどで取り組み案
しんで身体を動かしましょう!

ニ毎月最終水曜日

●体力測定に参加してみよう!

自分の運動能力を把握し日頃の運動習慣づくりの参考とするた
めに、市民健康スポーツデーに文部科学省の「新体力テスト」を
使った体力測定を行っています。

▽7歳から64歳まで

握力	握る力がどれくらいあるか
上体起こし	30秒間に腹筋を何回できるか
長座体前屈	座って上体を曲げて器具を前に何センチ押せるか
反復横跳び	20秒間で3本のラインを何回またぐことができるか
20mシャトルラン	20mの距離を決められた時間内に走りきることを何回つづけることができるか。(回数が減ることになり時間短縮になります)
立ち幅跳び	両足とびで何cm前に跳べるか

※65歳以上の方は、別な簡単な種目で測定します。

自分の運動能力は同年代の方に比べてどうでしょうか? 次回
は5月に測定を予定していますので、ぜひご参加ください。

【筋力トレーニングポイント】

筋力の衰えを防いだり、より良い体調を作るためには筋力トレーニングは欠かせません。筋力トレーニングを行うときは、次のことを注意して行ってみましょう。

- 使っている筋肉を意識する
- 反動をつけない
- 動作中に息を止めない
- 体に無理のない負荷で行う

国民年金通信

保険年金課年金医療係 (内線 117・118)

ご存知ですか? 学生納付特例制度

20歳になれば、どなたも国民年金に加入しなければなりません。学生の方で、国民年金保険料の支払いが困難な場合には、学生納付特例制度があります。



平成23年度(平成23年4月~平成24年3月)
分の申請期限は、平成24年4月30日です。

Q・学生納付特例制度とは?

A・学生の方で、本人の前年度の所得が118万円以下であれば、申請することにより、国民年金保険料の納付が猶予されます。

○学生納付特例を受けた期間中は、老齢等の基礎年金を受ける場合に必要となる「期間」に算入されません。(年金額には算入されません)。

○国民年金保険料を未納のまま放置すると、老齢基礎年金や、いざというときの障害基礎年金・遺族基礎年金を受け取ることができなくなります。必ず保険料を納めるか、学生納付特例制度などの申請をしてください。

Q・この制度を受けた期間の保険料はどうなるの?

A・学生納付特例制度を受けた方は、保険料を全額納付したときに比べ、将来受ける年金額が少なくなります。

※【例】この制度を2年間受けた場合、将来受け取る年金が、年額で約4万円減額されます。

Q・手続き方法は?

A・市役所の年金担当窓口へ、お申し出ください。

※本庁は保険年金課年金医療係、各支所は市民生活課保険係

◇持参する物 年金手帳、印鑑、在学を証明する書類(学生証の写し、または在学証明書等) ※代理の方でも申請できます。

Q・保険料の追納制度とは?

A・学生納付特例制度や、免除制度を受けた期間の保険料は、10年以内であればその期間の保険料を納めること(追納)ができます。追納をすることで、将来年金を受け取る際に、全額納付した場合と同じ年金額が受け取れます。追納をご希望の場合は、市役所の年金担当窓口にお申し出ください。

問保険年金課年金医療係 (☎ 内線117・118)

◎学生以外の方で、国民年金保険料の納付が困難な方には、保険料免除制度・若年者納付猶予制度があります。

平成24年4月から国民年金保険料が変わります

○保険料(月額)
1万4980円

※平成23年度 1万5020円

4月1日から、外来診療の場合でも

医療機関等の窓口での支払いが自己負担 限度額までになります

Q この制度を受けるためには？

A 市役所が交付する「限度額適用認定証」を、医療機関等の窓口で提示することで、医療費の支払いが自己負担限度額（下記の表）までになります。

Q 対象となる方は？

A 国民健康保険に加入している70歳未満の方

＊国民健康保険税に未納があると交付できない場合があります。

Q 対象となる診療は？

A 保険医療機関、保険薬局指定訪問看護事業者などで受けた保険診療が対象となります。

＊柔道整復、鍼灸、あん摩マツサージの施術などは対象なりません。



Q 「限度額適用認定証等」の申請方法は？

A 国民健康保険証と印鑑（スタンプ印を除く）をご持参のうえ、市役所本庁保険年金課または各支所市民生活課で申請してください。

Q 月途中で限度額適用認定証等が交付された場合、どの時点から適用となるの？

A その月に再度外来診療を受けた場合は、入院と同様の月の初めにさかのぼって適用されます。

Q 平成24年3月31日以前に交付された限度額適用認定証等でも使用できる？

A 記載されている有効期限までは使用できます。

Q 同一月に複数の医療機関等で受診した場合はどうなるの？

A 医療機関ごとに外来の高額療養費の算定をします。

◇自己負担限度額（月額）

所得区分	自己負担限度額（月額）	
	3回目まで	4回目以降
住民税非課税世帯	35,400円	24,600円
住民税課税世帯	80,100円 (医療費が267,000円を超えた場合はその超えた分の1%の額を加えます)	44,400円
	150,000円 (医療費が500,000円を超えた場合はその超えた分の1%の額を加えます)	83,400円

国民健康保険 からのお知らせ



問保険年金課国保係（内線 112・113）

ジェネリック医薬品の積極的なご利用を

◇ジェネリック医薬品とは

○「効き目が同じで値段が安い薬」です

◇ジェネリック医薬品を使うとこんな効果が

○通常もらう薬に比べ、2割から7割程度安く購入できます。

○少子高齢化で高騰する医療費の抑制につながります。

＊公費負担医療（マル福等）の方も、積極的にジェネリック医薬品を利用しましょう。

◇少しずつ増える利用者

○市内でのジェネリック医薬品の利用状況は、調剤医薬品全体の約24%（平成22年度）。少しずつ利用する方が増えてきています。

◇ジェネリック医薬品を希望する場合は

○医師や薬剤師に相談し、良く理解したうえで変更してください。

◆寄附の受入れ◆

氏名等	住所	寄附財産	目的
茨城みずほ農業協同組合	山下町	50,046 円	社会福祉事業のため

「ふるさと常陸太田」へのご支援ありがとうございます

ふるさと納税により、寄附をいただいた方です。寄附金は大切に使用させていただきます。

(平成 24 年 2 月受入)

氏名	住所	寄附金額	用途
高田俊幸様	那珂市	100 万円	指定なし

毎月第3日曜日は家庭の日

平成23年度常陸太田市家庭の日推進募集標語 優秀賞

わらい声 みんなのえがお ごちそうだ

「小学3・4年生の部 太田小3年 押野めぐみ



【アドバイス】

一般の消費者が、市場の状況や実態を確認することはほぼ不可能です。多額のお金を

支払ったが、その後すぐに「値段が下がったから追加の保証金が必要になった」と連絡があり、支払ったお金はすべて無くなった事を知った。(60歳代女性)

投資経験の無い高齢者に勧誘が行われる場合が多いのも特徴です。

しくみが分からなければ「契約しない」「ハッキリと断る」ようにしましょう。

問市消費生活センター (☎70-1322)

◆支援物資 (敬称略)

下村 浩司 (東京都)

義援金累計 4 千 67 万 8 1 0 5 円

匿名の方 1 件 1 万円

里美折橋店 1 万 2 1 9 1 円

財団法人 徳川ミュージアム 7 2 1 1 円 / ココストア

常陸太田市地区町会長協議会連合会 2 万 1 千 円 / 公益

〈団体・法人〉

義援金 (平成 24 年 1 月 28 日 ~ 2 月 27 日受入分 順不同、敬称略)

東日本大震災の発生後、本市に多くの個人、企業、団体などから義援金や支援物資が寄せられました。心から感謝を申し上げます。

温かいご支援・ご協力、ありがとうございます。

消費生活相談コーナー

CO2 (二酸化炭素) 排出権取引の儲け話に注意!

一般の消費者は手を出さないで!

【事例】

突然「今値上がりしている良い商品がある」と電話があり、後日自宅を訪問されCO2 排出権取引の勧誘を受けた。その際「元本は必ず戻る」「すぐ倍になる」と説明されたため信用してしまった。

業者に渡したものの、業者と連絡不能になるケースもあります。

また、勧誘時に「元本は必ず戻る」「必ず儲かる」などと良いことばかりを告げられたり、リスクの説明を受けないうまま契約し、多額の損失を被ってしまうケースが多いです。

使ってますか? マイバッグ

お買物をするときは、マイバッグを持参してレジ袋削減に取り組みましょう。



心の専門相談窓口

問健康づくり推進課
(☎ 73・1212)

春は卒業や定年など慣れ親しんだ環境との別れや、入学、入社、転職などにより、さまざまな環境の変化が起こる時期です。このような環境の変化に人はストレスを感じます。喜ばしい出来事でさえストレスとなります。

また、ひとつの出来事は小さくても、環境の変化や心配事が積み重なることで「うつ病」などの心の病になることがあります。早めに気づき、早めに正しい対処が必要です。

◆自分の体調でこんなことはありませんか？

- 疲れているのに2週間以上眠れない日が続いている
- 食欲がなく体重が減っている
- だるくて意欲がわかない

となりのまちから

【東海村】

第23回東海さくらまつり

約200本のソメイヨシノが皆さんのご来場をお待ちしています。ご家族やお友達をお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。日没後は「あんどん」や「ぼんぼり」によるライトアップも

◆該当する場合は専門機関に相談を
「おかしい…」と思ったら、一人で悩まずに、まずは専門医療機関（心療内科・精神科）や、次の専門相談窓口にご相談しましょう。

相談名	日時・場所	予約・相談先	専門職等
こころの相談	毎月第3水曜日 午前10時～午後4時 市役所本庁1階相談室	社会福祉課 (内線162)	精神保健福祉士
精神保健相談	毎月第4水曜日 午後1時～午後4時 総合福祉会館相談室	健康づくり推進課 (☎ 73-1212)	精神科医・保健師
	毎月第2水曜日 午後2時～午後4時 常陸太田合同庁舎相談室	常陸大宮保健所 (☎ 029-552-1157)	

広報ひたちおたアンケート用紙 (情報政策課広報広聴係あて)

「広報ひたちおた」について、市民の皆さんのご意見をお寄せください。
お寄せいただいたご意見は、今後の広報紙づくりの参考にさせていただきます。

＜質問内容＞ 番号に○をつけてください

性別	① 男 ② 女	年齢	① 19歳以下 ② 20～39歳 ③ 40～59歳 ④ 60～79歳 ⑤ 80歳以上
質問1	広報紙は普段からよく読みますか？ ① よく読む ② さっと目を通す程度 ③ あまり読まない		
質問2	毎月の広報紙で関心があるコーナーは何ですか？（いくつ選んでも可）。 ① 特集 ② おめでとうございます ③ エコミュージアム通信 ④ 二孝女物語 ⑤ 市民が講師の生涯学習講座 ⑥ 子育て応援広場 ⑦ つながりばん ⑧ 広報協力員の突レポ！ ⑨ 里↔まち交流掲示板 ⑩ エコエコ情報局 ⑪ 健康スポーツだより ⑫ スポーツ推進委員だより ⑬ トピックス ⑭ 国民年金通信 ⑮ インフォメーション ⑯ まちの話題 ⑰ 園児たちのギャラリー ⑱ がんばってます！ ⑲ てくてくウォーク		
質問3	広報紙で掲載してほしい記事やコーナーがあれば記載してください。		
質問4	広報紙全般について、ご意見があれば自由に記載してください。		

＜回答方法＞

アンケート用紙を切り取って、最寄りの公共施設のアンケート回収ボックスに入れていただくか、ファクシミリ（72-3002）でお送りください。二次元コードを認識できる携帯電話をお持ちの方は、右の画像を読み取ってアンケートサイトから回答することもできます（※通信料がかかります）。





青木永寿会が健康教室

2月14日、花房町の青木公民館^{おおき}で青木永寿会^{おおきえいじゅかい}（井坂 賛雄会長）が健康教室を行いました。

28人が出席し、午前中は介護予防教室で栄養士や歯科衛生士さんから健康でいるための講義を、午後は消防職員から救急救命の熱のこもった実技指導講習が行われました。

この教室は毎年行われ今年で3回目。井坂会長は「土日以外は若者が少なくなるこの地区はお互いの見守りや助け合いが基本、救急救命方法が身につければ役立つことが多く、これからも続けて行く」と話していました。



心臓マッサージの方法を熱心に聞く参加者

西染町の鳥追い祭り

2月12日、西染町の西染生活改善センターで今年22回目となる鳥追い祭りが行われました。

地域の三世代の100人を超える方が参加し、餅や味噌こんにゃく、豚汁など温かい物を食べながら地域の行事を楽しみました。

主催の西友クラブの石澤昌治会長は、「子どもたちが喜んでくれるし、これからも地域の交流の場として、長く残していきたい」と話していました。



鳥追い小屋の中で楽しむ子どもたち

下利員町で新そばを味わう

下利員町の有志が結成した「下利そば会（須藤章会長）」が、2月11日に1日限りの新そば食堂を下利員公民館で開きました。

同会では町内の遊休農地で常陸秋そばを栽培して秋に収穫。そのそばを地域の方に無料で味わってもらおうと、今回開催されたもので、地域の方など約120人が打ちたて茹でたてのそばを堪能しました。

世矢小の真弓駒づくり

世矢地区に伝わる真弓駒は、西暦807年に始まると言われる八幡太郎義家ゆかりの真弓神社の、歴史の中から誕生した地域の伝承文化です。

その真弓駒を伝承していこうと、1月31日に世矢公民館（田村俊男館長）と世矢小（萩庭宏信校長）の共催で、5年生と地域のお年寄りが参加しての真弓駒づくりが行われました。

世矢公民館の方々の指導のもと、子どもたちは真剣な眼差しで駒の組み立てから着色を行い、三世代が交流しながら伝承文化に触れました。



真弓駒の作り方や色の塗り方を聞く子どもたち

小沢町三世代交流

2月5日、小沢町集会所において、老人会と子ども会が共催で三世代交流の広場が開催されました。

お年寄りの皆さんも繭玉づくりは約40年ぶり。昔を懐かしみながら喜んで子どもたちに指導していました。子どもたちも慣れない手つきながら目を輝かせて熱心に飾り付け。できた繭玉は西小沢小学校に飾ることになり、郷土文化に触れながら、きなこ餅などで満腹になった子どもたちはとても喜んでいました。



紅白の餅を木につけて繭玉をつくる参加者。子どもからお年寄りまで三世代が楽しく交流した



もりそばの他にも、つけけんちゃんそばも振る舞われた



地元のそば打ち名人が、つゆにまでこだわって提供したもりそば



鯨ヶ丘ひなまつり

鯨ヶ丘商店街（東一～三町ほか）の各店舗で、2月24日からスロータウン鯨ヶ丘ひなまつりが開催され、約50店舗に展示されたひな人形やつるし雛が、土蔵や町家など歴史的な建造物が残る鯨ヶ丘の街並みを華やかに彩っています。

また、鯨ヶ丘商店会加盟店40店によるひな巡りウォークラリーや、お茶のおもてなしも実施しています。鯨ヶ丘ひなまつりは3月25日まで開催されていますので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



金砂田楽の練習成果を発表

2月22日、金砂郷小（井上悠紀子校長）の3～6年生が、地域の田楽師や楽師の方6人を招いて金砂田楽の発表会を行いました。

発表会は同校の総合的な学習の一環で行われているもので、子どもたちが金砂田楽の4つの段「四方固め」「獅子舞」「種まき」「一本高足」を月1回練習し、その成果を披露したものです。

「最初は難しかったけど、練習してうまくできるようになった」「見てもらえて良かった」と話す子どもたち。6年生が中心となって会場や用具などの準備をし、みんな意欲的に学んでいます。今回の発表会は、地域の方と交流しながら、伝統行事を学ぶ機会となりました。



楽師の方の演奏に合わせて、獅子舞の段を披露する子どもたち



地域の方から四方固めの段のアドバイスを受ける子どもたち

少年少女合唱団創立記念コンサート

2月12日生涯学習センターで市少年少女合唱団創立20周年記念コンサートが行われました。

合唱団は、平成4年に誕生して以来20年目を迎え、卒団者数も200人を超えました。コンサートの中でこれまでの団の歴史や思い出を振り返り、会場の全員と合唱し、コンサートは大いに盛り上がりしました。

また、特別演奏として卒団生の在籍する水戸二高コーラス部OGで結成されたMLR（ムールリー）合唱団も参加し、美しい歌声を響かせました。

ステージで明るく歌う子どもたちの歌声が会場に響いた



水戸二高コーラス部OGムールリーも参加してステージを盛り上げた

誉田地区の趣味の作品展

誉田地区に住む住民の趣味の作品展が、2月3～5日に誉田公民館（曾根秀嗣館長）などを会場に行われました。

今年で5回目を迎えるこの展示会は、年々規模が大きくなり今年は160点余りの作品が展示されました。展示の作品は多彩で編物・パッチワーク・写真・書道・絵画や絵手紙・盆栽・工芸など幅広く、また、その作品の完成度も高く訪れた方を楽しませました。



素晴らしい作品に見入る来場者。今年も多くの方が訪れた



様々な力作が並ぶ作品展は、地域住民の趣味の発表の場となっている

がんばってます



Ishikawa Meisa

石川明紗さん

Sasakawa Kiriko

笹川貴吏子さん

東京都出身の長島、青森県出身の笹川、つくば市出身の石川の3人で昨年4月から里美地区に移り住み、「常陸太田市地域おこし協力隊」として活動しています。地域資源の見直し・ブラッシュアップ、市産品・情報の外部発信、交流人口の拡大が主な活動の中心ですが、他にも農作業や地域の活動・イベントなどにも参加しています。

現在は、食を中心に据えた事業で、里美地区の旬の食材を使用した「里美御膳」の提案や、月に一度開催されているママンカ市場（世田谷区下北沢）で市産品の販売・PR、里美地区内の地域資源をまとめたマップ作成を行っています。活動中や普段の生活の中でも初めて見る物、食べる物が多く、活動始めて丸一年たとうとしています。いまだに新しい発見があり、常陸太田市の魅力や地域の多様性に驚かされています。

今後は年間を通じたツアーの企画、都市部での市産品販売の継続・新規市場開拓、地域資源をまとめたマップ作成など3人の活動を有効につなげ、さらに4月から増員予定です。日々の活動内容はブログやフェイスブック、広報ひたちおおたの「つながりぽん」というコーナーで発信していきますのでぜひご覧ください。



園児たちのギャラリー

今月は「木崎保育園」で～す(^0^)/
年長さん（さくら組）

手作りマフラー

自分で編んだマフラーは、やわらかくてあったかくてとっても気持ちがいいな。

いわみ
りく くんいさか
しんのすけ くんたむら
ゆり ちゃんめまだ
さくら ちゃんおがわ
あおい ちゃん

マフラーがあれば寒い日でもへっちゃら！ 元気にお外で遊んでいるよ。自分で編んだマフラーをしてお出かけるのはうれしいな。

てらぬま
しゅうや くんかりや
まひろ くんいさか
りあん ちゃんかわさき
もえ ちゃんてらかと
まなみ ちゃんかみき
えりな ちゃん

のんびり歩こう♪ ひたちおたてでくでくウォーク 10

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。

東染町ハイキングコース

距離：約9km 所要時間：3時間半

今回は、東染町を歩いてきました。

東日本大震災の際にも自主防災会が積極的に活動し、地域のつながりが強い東染町。エコミュージアム活動への取り組みも早く、看板などの整備も行われており見所が多い地区でもあります。歩く際には東染林業センターに車を停めて、南北に分けて歩くのがよいでしょう。どちらのコースも距離はなく、道路に沿って見所があるので、短時間で楽しんで歩けます。特に棚田の風景はとても美しく、時がたつのを忘れて見入ってしまいます。

「東染八景」の里山風景は、四季を通じておすすめです。

① 地蔵尊 (賽の河原の地蔵尊)



子育て地蔵尊・安産の地蔵尊であり、昭和6年県道改修時に移設したが、現在も子宝を願い安産祈願の参拝がされる。

④ 東染郷倉



文政九年(1826年)の建築で、水戸藩が農民救済のための策として、粟やひえを貯蔵し飢饉に備えるため設置された。集中曝涼時に一般公開される

② 十二所神社



日本各地に多くある十二所神社は、熊野三山の熊野十二所権現を祭ったものであり、ここもその一つと考えられる。拝殿は平成11年に改修されている。

⑤ 東金砂神社一の鳥居 (四足の鳥居)



かつては、参道入口のこの鳥居に寄り、ここから東金砂神社にお参りしたものとされている。鳥居の「東金砂山」の韻文字は三猿を表す象形文字となっている。

③ 経屋



江戸時代の文久年間に尊師が住み、毎日お経を唱えていたそうです。昭和25年に建て替え、現在は集落の集会所として使用している。

東染八景

この東染八景、東染全地図に記された年号は文政六年(1823年)とあり、水戸八景の設定より古い。八景の地の全てに看板があり、詠まれている唄が記載してあるので、悠久の里山の風景を想像してみるのも楽しい。

至北消防署

高田の落雁

表紙に
よせて

2月19日、赤土町で開催された「常陸秋そばの郷まもりたい」主催の収穫祭で、子どもからお年寄りまで三代が、地域で活動している「表現座 SE ☆ COM (チンドンバンド)」の演奏を楽しんでいるひとコマです。(関連記事を10ページのエコミュージアム通信に掲載)

発行 常陸太田市 / 編集 情報政策課 〒313-8611 常陸太田市金井町3690
☎72-3111 (内線303・304) Fax72-3002

*広報ひたちおたは市のホームページでもご覧になれます
URL <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>

この広報紙は再生紙を使用しています